

# 緑が丘だより

2021年10月1日(金)  
綾川町立綾上中学校 第7号

【学校教育目標】 : 明るい未来を創造する 心豊かでたくましい生徒の育成

<http://www.edu.ayagawa.ed.jp/ayakami-j/>

## 「柿の日」

10月26日は柿の日です。今から125年ほど前1895年のこの日に、新しい俳句づくりで活躍した正岡子規(まさおかしき)という人が、「柿食へば鐘が鳴るなり法隆寺」という有名な俳句を詠(よ)んだ日であることから「柿の日」となったそうです。

子規は、小さなころから俳句や和歌に興味を持ち、たくさんの勉強をしました。実際に見えている様子を写したような表現を大切にしながら新しい俳句づくりを取り入れ、雑誌や新聞に投稿し、当時の人々に好影響を与えます。しかし、その後、重い病気にかかり、寝たきりの生活になってしまいました。それでも、子規は、強い精神力で、自分の考えや生活の様子などを「病床六尺」という記事で、新聞に長く書き続けたことは有名な話です。また、子規は、当時、日本に伝えられたばかりの新スポーツ、野球に強い興味を持ち、選手で活躍したことも有名です。さらに、野球用語:「バッター」「ランナー」「フォアボール」などの英語を「打者」「走者」「四球(しきゅう)」等の日本語に初めて訳したことで知られています。さて、秋の果物の柿は、桃や梅、杏(あんず)などと一緒に、中国から伝わってきたと言われています。鎌倉時代には植えられていた場所もあったようです。また、柿の実にはビタミンが多く含まれています。特にビタミンCは、レモンにも負けないほど多く含まれています。さらに、ビタミンBやカロチン、ミネラルなども多く含んでいることから、「柿が赤くなれば、医者が青くなる」ということわざがあるほどです。柿を食べれば、健康で病気しなくなるといわれるほど、とても栄養豊富な果物なのです。

綾川町特産物～<sup>たいしゅうがき</sup>太秋柿は有名! 甘い



## マナー講座を実施しました!

9月9日(木)、オフィス後藤の後藤ケイ子様をお招きし、2年生を対象とした「マナー講座」を実施しました。例年、この講座で学んだ電話応答や礼儀作法、言葉遣い等を職場体験学習の場で実践しています。今年度はコロナ禍で実現できませんが、マナーに関することについて、個々に新たな発見をしました。「マナーの必要性」、「マナーの基本」、「お客様とのコミュニケーション」、「言葉遣い」等については、すぐに役立つものばかりです。ぜひ、日常生活で生かしつつ大人への階段を一步一步登ってほしいものです。

後藤様が帰りがけに、「校長先生!素晴らしい生徒さんたちですね。聞く態度、受け答えの姿勢・・・」とおっしゃりながら帰路につかれました。さらには翌日、お手紙が届きました。一文を紹介します。「生徒さんたちはものすごく明るく、ハキハキと実演しお辞儀もきれいに美しくできていました。(略)生徒さんの将来が楽しみです。(略)素敵な中学生にお目にかかれて大変元気を頂き、印象深い一日となりました。(略)」以上。綾上中の先輩から脈々と受け継がれてきた素敵な「人格」が皆さんに宿っていますね。新天地でも十分やっつけていきます!とお墨付きをいただきました。



## 避難訓練 (南海地震; ここ30年で70~80%の確率で起こる? → 火災を想定)

9月6日(月)に避難訓練を実施しました。「震度6強の地震が発生、その後、給食センターから出火」という想定でした。『お・は・し・も・ち』という原則に従って、全員が真剣に取り組みました。整然と、無言で、素早く行動し、3分以内で体育館に入場し終えたのです。極めて模範的な態度は今後の地域の安心・安全につながるものと確信しました。

『優勢反応の理論』～人は興奮や緊張をするといつもやっている行動(優勢反応)をする～と心理学の研究では言われています。つまり、普段できないことは、いざというときにできない、たまにしか通ったことのない経路を切迫した状況では通ることはできずには人はいつも通る道を通ってしまうようです。従って、避難訓練で経路を頭に入れておくことは、万が一の時、大変重要なことだそうです。



## ～夏休み 俳句に詠もう 思い出を 広報委員会～

廊下を歩いていると、広報委員会からの夏休み課題である俳句が掲示されていました。目に留まった作品があります。やはり、コロナ禍ゆえのつぶやきも随所に見られました。

- 涼しさや 潮風感じ 惜しむ夏
- 棒アイス 棒から落ちて アリのえさ
- 夏祭り 来年こそは 待ちわびる
- コロナ禍で 自粛メインの 日々続く
- 早すぎる 時間の流れ 夏休み
- 大迫力 テレビ越しの 打ち上げ花火
- 今年の夏 家で祭りも 楽しいな
- 花火して テストがよぎる 頭の中

## 青春満祭に向けて～合唱編 コロナ禍ゆえの工夫した練習

10月16日(土)に開催される青春満祭、メインとなるクラス合唱の練習が、9月7日から始まりました。コロナ禍において、様々な制限の中、工夫して練習に取り組んでいます。『そこに仲間がいて、歌がある、そんな瞬間を大切に。』合唱は、その時の仲間と時代を分かち合う事のできる「文化」です。最高の思い出となる文化を創り上げましょう。

題名は次の通りです。

- 3年 「手紙」【拝啓 この手紙読んでいるあなたは♪】
- 2年 「大切なもの」【空にひかる星を 君と数えた♪】
- 1年 「旅立ちの時」【君の瞳に 花開く 夢をかなでる心風に吹かれるこの道さえも 星明りに♪】



## P T Aの活動から

コロナ感染症の拡大により、PTA活動も中止や延期になっている状況ですが、9月2日(木)PTA校外補導委員さんと宮崎輪業さん、岡内自動車さんのご協力のもと自転車車体検査を行いました。タイヤの空気圧不足やブレーキの利きが悪いなどの不備が見つかりました。学年が上がるにつれ多くなる傾向があります。現在は、不良箇所を整備し、安全ステッカーのついた自転車で登下校しています。



## 11月の主な行事予定

- |        |                       |               |                 |
|--------|-----------------------|---------------|-----------------|
| 1日(月)  | 要請による学校訪問             | 12日(金)        | 第2回高校説明会        |
| 5日(金)  | シェイクアウト訓練             | 24日(水)～26日(金) | 期末テスト           |
| 8日(月)  | 「弁当の日」                | 24日(水)        | 綾川中入学説明会(於;綾南中) |
| 11日(木) | 「学習の診断④」<br>県学習状況調査2年 |               |                 |